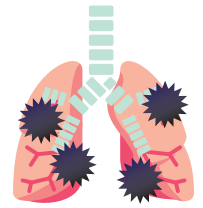


## 結核について

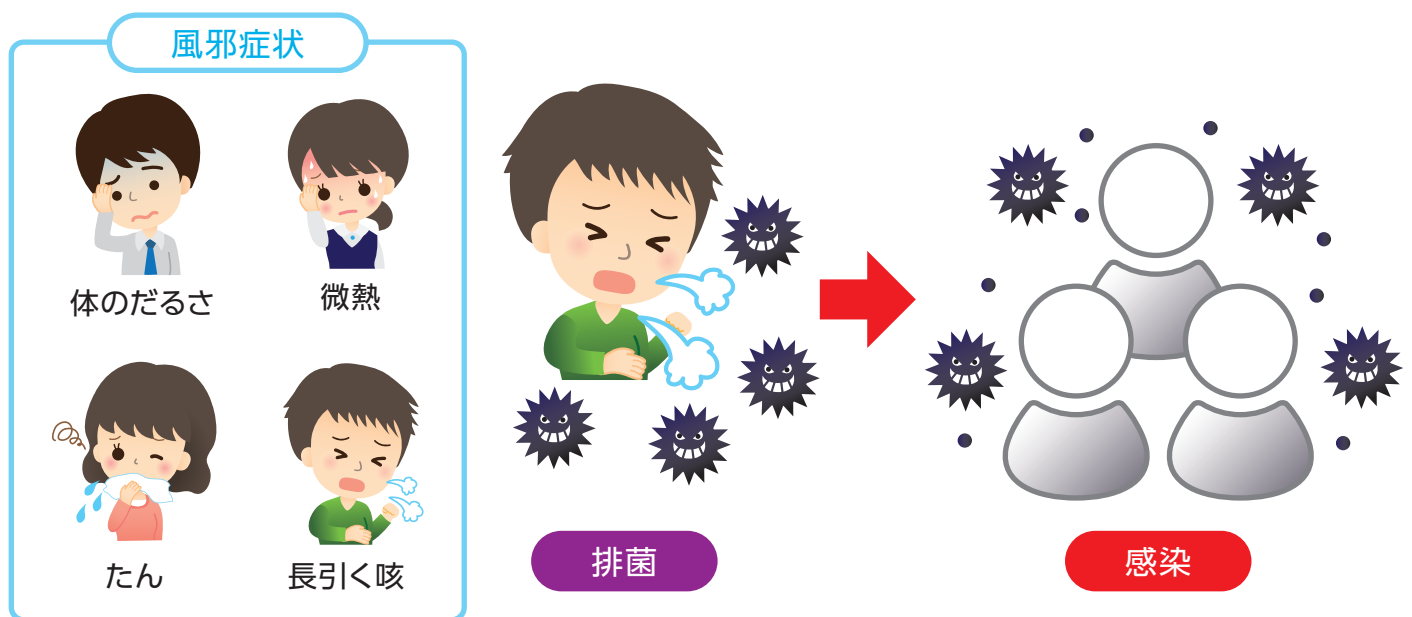
日本では、明治以降の産業革命による人口集中に伴い、結核は国内に蔓延し、「結核は国民病」と呼ばれた時期がありました。昭和26年に「結核予防法」が制定されて以来70年経過した近年では、結核の死亡率順位は常に20位以下となっており、結核はなんとなく昔の病気というイメージがあるかと思います。しかし、現代でも年間10000人以上の新しい患者が発生し、約2000名が命を落としている日本の主要な感染症です。



### ■どんな病気？

結核の症状は、長引く咳、たん、微熱、体のだるさなど特徴的なものがなく、早期には風邪に似た症状が目立たないことが多いため、特に高齢者では気が付かないうちに進行してしまふことがあります。結核が進行すると、咳やくしゃみなどによって空気中に結核菌が飛び散るようになります。その結核菌を吸い込むことにより周りの人に感染が広がります。

肺に感染する結核が有名ですが、肺以外の臓器にも感染が広がることもあり重い後遺症が残ってしまう場合もあります。



### ■結核感染について

結核（症）とは結核菌によって引き起こされる病気です。結核菌を体内に吸い込んで感染した人の多くは体の免疫機能により結核菌の増殖を阻みます。体内で生き延びた結核菌は後に（主に免疫機能の低下によって）活動性をもち結核症となります。これを潜在結核と呼びます。

高齢になっていくにつれ免疫機能が低下するため高齢者での発症が多くなります。

- 【参考文献】
- ・公益財団法人結核予防会結核研究所 ([https://jata.or.jp/about\\_basic.php](https://jata.or.jp/about_basic.php))
  - ・厚生労働省 2022年 結核登録者情報調査年報集計結果について ([https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000175095\\_00010.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000175095_00010.html))
  - ・WHO Global Tuberculosis Programme (<https://www.who.int/teams/global-tuberculosis-programme/data>)
  - ・厚生労働省 結核とBCGワクチンに関するQ&A ([https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/bcg/index.html](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/bcg/index.html))
  - ・公益財団法人公益財団法人結核予防会 結核について ([https://www.jatahq.org/about\\_tb/](https://www.jatahq.org/about_tb/))

## ■結核の感染状況

WHO の推計によると、20 億人（世界人口の約 1/3）が結核に感染し、そのうち毎年 800 万人の新たな結核患者が発生し、300 万人が結核で死亡しています（99% が開発途上国に集中）。これは単独の病原体による死亡としては依然として最悪の第一位です。

日本では 2022 年に新たな結核患者の数（新登録結核患者数）は 10,235 人で、前年より 1,284 人（11.1%）減少しています。一方、新登録結核患者における外国生まれの者の割合は 11.9% と前年の 11.4% から 0.5% の増加となっており、年々増加傾向にあります。

※日本は 10 万人に対し 9.5 人の発生。東南アジア諸国では人口 10 万人に対し 234 人の発生です。  
（WHO 結核報告 2022 年）

## ■結核の予防

結核の予防には BCG ワクチンを用います。生後1歳までの BCG ワクチン接種により、小児の結核の発症を 52～74% 程度、重篤な髄膜炎や全身性の結核に関しては 64～78% 程度罹患リスクを減らすことができると報告されています。現在日本で推奨されている生後 5 か月～8 か月の期間に 1 回の接種で 10～15 年ほどの予防効果があります。

これは、早期の予防接種により、国内の結核感染拡大予防に重きを置いた対策であるため、予防接種可能な月齢になり次第の接種が求められています。



- ・ BCG 予防接種：生後 1 歳に至るまで（標準的接種期間は 5 か月から 8 か月に達するまで）の間に接種
- ・ 一度の BCG 接種で 10～15 年程度効果が続く

## ■結核の治療について

結核の治療は複数の薬の内服での治療が効果的とされています。1つの薬だけでの治療を続けると薬に耐性を持った耐性菌が作られるからです。標準的な投薬に関しては最初に 4 剤、続いて 2～3 剤を半年飲み続けます。6 か月間～9 か月という長い期間薬を飲み続けなければなりません。再発と薬剤耐性菌発生を防ぐためには必要な方法です。もし、内服を中断して薬剤耐性を持った結核菌に感染してしまうと治療が困難になってしまいます。

結核に限った話ではありませんが、治療を最後まで完了させることが重要です。

### 感染拡大防止のために

結核の感染拡大を防ぐためには、結核について正しい知識を持っていただくことがとても大切です。結核がどのようにして広がるのか、どのようにして治すのかを理解し、定期健診（胸部 X 線検査）を受ける、咳が長引くときは診察を受けるなど、結核対策は、皆さん一人ひとりの意識と行動にかかっているのです。

#### BCG 接種

感染しても発病しないように免疫を付ける

#### 潜在性結核感染症治療

感染したことが分かった人は発病を防ぐための薬を服用する

#### 発見

発病した人を早期に健診や受診で発見し治療につなげる

#### 治療

発見した結核患者を化学療法で治し感染源にならないよう健康な生活を取り戻せるようにする